



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
コード番号 8118 URL <https://www.king-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木原 伸一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 坪田 隆宏 TEL 03-5434-7282
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,768	△5.5	555	△13.0	701	△2.8	467	△19.9
2025年3月期第3四半期	6,101	△1.9	638	△15.3	721	△12.0	583	35.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 741百万円 (11.5%) 2025年3月期第3四半期 664百万円 (△15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	29.27	—
2025年3月期第3四半期	36.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	26,178	22,885	87.4
2025年3月期	25,717	22,475	87.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,885百万円 2025年3月期 22,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,560	4.9	950	9.8	1,070	12.0	720	△1.8	45.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	24,771,561株	2025年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	8,828,515株	2025年3月期	8,775,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	15,961,262株	2025年3月期3Q	15,981,539株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が見られましたが、米国の通商政策や不安定な国際情勢の影響により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、生活必需品を中心とした物価上昇を背景に消費者の節約志向が強まる中、季節ごとの気候変動の不安定さも影響し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、「強いものづくり」を基軸に、独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、「売上高の拡大」を最重要課題として取り組みました。

具体的には、既存ショップの売上拡大施策やパートナーショップの新規開発を継続すると共に、新たなレディースブランドである「pierre cardin（ピエール・カルダン）」の展開等の営業活動を推進しました。

また、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化により、収益性改善にも努めました。

加えて、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化によって店頭運営力の向上を図り、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化にも努めてまいりました。

その結果、売上高は57億68百万円（前年同期比5.5%減少）、営業利益は5億55百万円（前年同期比13.0%減少）、経常利益は7億1百万円（前年同期比2.8%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億67百万円（前年同期比19.9%減少）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

（アパレル事業）

独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、既存ショップの売上拡大施策の実施や新たなレディースブランドである「pierre cardin（ピエール・カルダン）」の展開、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化等によって収益性改善にも努めましたが、季節ごとの気候変動の不安定さによる影響に加え、ブランド再編による影響が重なったことから、売上高は44億5百万円（前年同期比6.8%減少）となりましたが、営業損失は74百万円（前年同期は営業利益7百万）となりました。

（テキスタイル事業）

企画提案型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材の育成に取り組むと共に、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発強化および諸経費の削減を進めてまいりました。また、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースにテキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりましたが、アパレル各社の生産数量減少の影響を受け、売上高は6億1百万円（前年同期比5.9%減少）、営業利益は40百万円（前年同期比40.0%減少）となりました。

（エステート事業）

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は7億61百万円（前年同期比3.5%増加）、営業利益は5億97百万円（前年同期比4.8%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は261億78百万円となり、前連結会計年度末比4億61百万円の増加となりました。

流動資産は123億2百万円となり、前連結会計年度末比5億15百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金と商品の減少によるものであります。また、固定資産は138億76百万円となり、前連結会計年度末比9億76百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物の増加に加え、無形固定資産、投資有価証券及びその他の投資の増加によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は32億93百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の増加となりました。

流動負債は14億71百万円となり、前連結会計年度末比67百万円減少いたしました。これは主に、未払金及び賞与引当金の減少に加え、支払手形及び買掛金、並びに未払法人税等の増加によるものであります。また、固定負債は18億21百万円となり、前連結会計年度末比1億18百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加および退職給付に係る負債の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は228億85百万円となり、前連結会計年度末比4億10百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、87.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想通りに推移しており、現時点においては、2025年5月7日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,718	10,338
受取手形及び売掛金	699	699
電子記録債権	7	※1 6
商品	1,227	1,110
原材料及び貯蔵品	39	43
その他	128	108
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	12,818	12,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,238	2,380
土地	6,480	6,480
建設仮勘定	10	—
その他 (純額)	234	228
有形固定資産合計	8,963	9,090
無形固定資産	146	319
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,520
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	7	5
差入保証金	468	436
その他	227	517
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	3,790	4,466
固定資産合計	12,899	13,876
資産合計	25,717	26,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	425	485
有償支給に係る負債	39	44
短期借入金	380	380
未払金	222	116
未払法人税等	109	146
未払消費税等	22	30
賞与引当金	144	58
役員賞与引当金	15	12
その他	180	196
流動負債合計	1,539	1,471
固定負債		
繰延税金負債	464	633
長期末払金	161	157
退職給付に係る負債	78	27
資産除去債務	125	132
長期預り保証金	872	870
固定負債合計	1,703	1,821
負債合計	3,242	3,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,137	8,151
利益剰余金	13,915	14,094
自己株式	△3,367	△3,424
株主資本合計	21,031	21,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	1,689
退職給付に係る調整累計額	42	27
その他の包括利益累計額合計	1,443	1,717
純資産合計	22,475	22,885
負債純資産合計	25,717	26,178

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,101	5,768
売上原価	2,620	2,448
売上総利益	3,480	3,319
販売費及び一般管理費	2,842	2,764
営業利益	638	555
営業外収益		
受取利息	7	29
受取配当金	65	111
投資有価証券売却益	4	—
仕入割引	5	4
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	2	4
営業外収益合計	86	150
営業外費用		
支払利息	2	4
その他	0	0
営業外費用合計	3	4
経常利益	721	701
特別損失		
固定資産除却損	10	4
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益	710	696
法人税、住民税及び事業税	69	179
法人税等調整額	58	49
法人税等合計	127	229
四半期純利益	583	467
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	467
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	288
退職給付に係る調整額	△14	△14
その他の包括利益合計	81	273
四半期包括利益	664	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664	741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月7日 取締役会	普通株式	287	18	2024年3月31日	2024年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月7日 取締役会	普通株式	287	18	2025年3月31日	2025年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費(無形固定資産、投資その他の資産に係る償却費を含む)
は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	301百万円	311百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,726	639	735	6,101	—	6,101
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	22	—	34	△34	—
計	4,737	662	735	6,135	△34	6,101
セグメント利益	7	66	569	644	△6	638

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,405	601	761	5,768	—	5,768
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	9	10	—	20	△20	—
計	4,414	612	761	5,789	△20	5,768
セグメント利益又は損失 (△)	△74	40	597	563	△8	555

(注) 1. セグメント利益の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。